

# 台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2014年4月7日号 東京発行 NO.204

発行元: 有限会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0686 http://www.taiwannews.jp E-mail: info@taiwannews.jp  
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価300円(税込) 定期購読12回: 3,000円(税込) / 24回: 6,000円(税込) ©郵便振替: 00140-4-594168

続けて読むから「台湾」が解る  
お得で便利!! 毎月第1日曜日にお届け!  
**年間定期購読**  
送料無料でお届け!  
1年契約で700円お得!  
※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)  
~お申込みはかんたんです(住所・電話番号・お名前・契約月)~  
お申込み窓口 (TEL03-5917-0045 FAX03-5917-0686) まで  
メールでも受付中! (info@taiwannews.jp)

## 台湾立法院を学生らが初占拠



両岸サービス貿易協定の撤回を求める学生らが立法院を占拠(写真提供: 中央社)

両岸サービス貿易協定の運用に対する審議が十分でないまま、馬政権が強硬に採決に踏み切った事に対し、学生らを中心に台湾立法院を強制的に占拠した。議会制度開始以来、初の立法院の占拠と見られ、歴史上の見地からも前代未聞の出来事である。それだ

け、この協定の重要性が国民に与える影響や国そのものの存続意義にも波及するとの思いからの実施と見られる。

占拠は2014年3月18日に始まった。台湾立法院が「両岸サービス貿易協定」の撤回を求める学生らによって実行されたのだ。台湾

メディアによると、学生らは18日の午後9時頃に警備を振り切った立法院内に突入。立法院内にあった椅子や机、ワイヤーなどを使い、議場の入口にバリケードを築いて占拠した。議場内の机や壁には両岸サービス貿易協定撤回を求める内容が書かれた黄色い垂れ幕や、馬英九総統に抗議する絵などが張り付けられた。この占拠の様子はSNSやニコニコ生放送などで配信され、全世界にこの占拠の様子を伝えた。

当時は立法院の21日までの本会議の予定だったが、馬英九総統が学生側の3つの要求(「中国大陸との取り決めに対する監督制度を法制化すること」、「サービス貿易取り決めへの対応は体制の法制化後とすること」、「立法院の程序(立法審査)委員会は制度化を妨げることなく迅速に審査を行うこと」)についての同意書提出を受け入れなかったため、立法院占拠は長期戦の様相を呈した。3月31日現在で二週間経過している。

事の発端は昨年6月、馬英九総統が国民

のビジネスにプラスとなり、台湾の競争力向上のためであり、次の世代により一層素晴らしい未来があることを保障するものであると主張する「両岸サービス貿易協定」の発効審議がブラックボックス状態のなかで行われた事に起因する。加えて時間切れを理由に与党国民党の立法委員(議員)が審議を半ば強制的に打ち切り、強行採決の断行を宣言したことに。これに対し馬英九総統は、「両岸サービス貿易協定は国会での審議段階に入っており、立法院で条文ごとに議論・採決することは支持するが、取り決めの撤回自体は台湾にとって大きなダメージとなるもので賛成しかねる」とした。

一方、元中華民国総統の李登輝氏は3月27日、「両岸サービス貿易協定」に反対し立法院を占拠している学生らと、それに対する馬英九総統の対応について、「国家の指導者たるもの、学生の意見に耳を傾けるべきである。学生たちは将来の国家にとって大切な存在だ。馬英九氏はまず、彼らと会って話を聞き、問題点と解決法について話し合うべきだ。こうしたことができないのなら、何のために指導者に選ばれたのか」との異論を展開している。

TOPIC

日本語版  
今号は台湾で起きた立法院占拠に関する報道のため第2面を特別面としました。

- 駐・那覇弁事処蘇啓誠処長インタビュー 3面
- 台湾若手ファッションブランド「Creative Taiwan 2014-2015 AW」が渋谷で披露 8面

中国語版

- 人物專訪: 日本台商總會監事長有話要説 2面
- 大阪亞洲電影節特集 6面
- 日本房地產投資快訊 8面

WEBでもニュース記事が読めます  
<http://blog.taiwannews.jp>



**2014春 海外初出店!!**  
日本では3/20日本橋三軒塔に「グランドオープン」  
詳しい情報はホームページから[www.hainannews.com](http://www.hainannews.com)

**両岸サービス貿易協定とは**  
2010年に締結した「経済協力枠組み協定(ECFA)」に基づき、2014年の締結を目指した具体化協定の1つである。これは2013年6月に中台間で締結された、中台両岸におけるサービス貿易制限を解除し、マーケットを互いに開放させ、貿易の自由化に達することを目標とする協定であり、取り決めとして、中国大陸側が電子商取引や出版・金融・医療・旅行業などを、台湾では金融・電信・美容・航空などを開放することなどがあげられる。

を作り、台北駅などで「過激な行動はやめ、家にいよう」と声を張り上げ、立法院の占拠を続ける学生や、秩序維持にあたる警察官らを自宅に帰そうと訴えた。

いずれも、多くの民衆が参加した大規模デモだったことに変わりはない。このデモは同日午後8時頃まで続いた。

一方、台湾各メディアの報道によると、デモ終了後、数十万人の参加者は連日退去し、ゴミも全く落ちていなかったという。このことから台湾では今回の学生運動を「史上最偉大な学生運動」(「史上最も素晴らしい学生運動だ」と讃えている。また、30日には黒服のデモ隊に対する白服を着た反デモ隊も登場した。この反デモ隊は、デモ前日の29日にデモ隊の象徴であるヒマワリに対抗してカーネーションを持参し、そのカーネーションで地面に「家」の字



民衆による大規模デモ(写真提供: 中央社)

### 「両岸サービス貿易協定」反対運動の一連の流れ

- 2014/3/17**  
両岸サービス貿易協定の審議を打ち切り、強行採決に移ることを宣言
- 2014/3/18**  
21:00頃/両岸サービス貿易協定に反対する学生らが立法院を占拠
- 2014/3/21**  
学生らの要求に馬英九総統からの回答なし。王金平立法院長は対策会議の出席を拒否し、密室協議を行うべきでは無いとの考えを示す
- 2014/3/23**  
午前/馬英九総統が記者会見を開くも、その内容に誠意を感じないと学生等は納得せず夜/馬英九総統が要求に応じないことをうけ、一部学生らが行政院に突入
- 2014/3/24**  
朝/警察は放水車などを使い行政院の学生らを完全排除
- 2014/3/25**  
馬英九総統が前提なしを条件に学生らとの対話に応じる意向を示す
- 2014/3/27**  
学生デモ隊のリーダーは立法院が同意書を提出すれば議場から退去する考えを明らかに
- 2014/3/30**  
馬英九総統は同意書提出に応じず、学生や市民連による大規模デモが総統府前に勃発

### 【行政院侵入】

「両岸サービス貿易協定」の撤回を求める学生らのうち約1000人が3月23日の夜、立法院から数百メートル離れた行政院(内閣)の敷地内にも警官隊の警備を突破して侵入した。この騒動に対し江宜樺・行政院長(首相)は「不法、暴力行為を厳しく批判する」として強制排除を指示。警察当局は24日未明、強制排除に乗りだし、警官隊約2000人で放水車を投入して鎮圧。現場は緊迫した状況が続いた。行政院の記者会見によると、学生らと警察双方の100人以上が負傷し、学生ら61人が現行犯逮捕されたという。この行政院占拠騒動は、馬英九総統が学生らの直接対話に応じる姿勢を見せなかったことで強硬姿勢を強め、勃発したものと考えられる。

### 【3/30大規模デモ】

中国大陸との「両岸サービス貿易協定」の撤回を求める学生団体の呼びかけに応じた一般市民らは3月30日、台北・総統府にて撤回要求デモに加わった。主催者側の発表では、午後1時より始まったデモの参加者は午後2時の時点で総統府前の凱達格蘭(ケタガラン)大道、中山南路、立法院内外などを合わせて35万人に達し、午後4時には50万人もの参加者で埋め尽くされた、とした。しかし、警察が発した内容はこれとは異なり、デモ参加者は最大で11万6000人だったとしている。

宅配利用で遠くからでも利用OK

パソコン処分したいんだけど・・・  
**無料** どうすればいいの?

【依頼者にお得情報】  
デスクトップSET  
ノートPC (液晶割れ不可)  
液晶モニター (液晶割れ不可)

QUOor 図書カード  
どちらかプレゼント  
(事前のご連絡をお願いします)

データの破壊サービス付  
当社に依頼されたパソコンは全てHDD破壊付です。  
ご希望の方は、そ場で破壊致します。

壊れ・古い お引受け致します  
解体→分別→再資源なので、ゴミではありません。  
家電リサイクル品目 (テレビ・冷蔵庫・洗濯機・ITP)は別途ご相談下さい。

【その他高価買取します】  
非鉄・スクラップ・廃プラ  
エアコン・銅線・給湯器、他

なんでもご相談下さい

http://www.shinrikogyo.co.jp 信利工業(株)  
(大阪台湾同郷会 会長: 池平美香) 〒593-8312 大阪府堺市西区草部2009番地  
tel 072-260-3688 fax072-260-3677

世界の見え方は、あなた自身の視点で変わる

I SEE YOU

EVA AIR  
A STAR ALLIANCE MEMBER

WEB限定運賃 45日前、21日前までの購入がおトクです!台北行16,000円~

# 「世界330行動留学生有志の会」が東京/京都/福岡から台湾へ声援

## 【330東京青空教室】



代々木公園にて台湾へ声援を送る参加者たち

支持する政党や思想などのイデオロギーを超越して自発的に集結した「世界330行動留学生有志の会」は3月30日午後2時、「台湾の民主主義を守ろう!三月三十日海外の台湾

の台湾人や日本人が参加した。参加者の中には両岸サービス貿易協定の撤回を求める内容が書かれたプラカードや、今回の学生運動の象徴でもあるひまわりの花を持参している

人も見受けられた。また、今回の活動のためにわざわざ台湾から足を運んだ台湾人もいた。日本での声援活動の目的は、集会という方式を通じて、在日台湾人、または台湾に関心を持つ日本人の力を結集し、台湾で現在も立法院(国会)の占拠を続け、両岸サービス貿易協定の撤回を訴えている学生らに声援を送ると同時に、対話を通じて多角的な声を理解し、日本の声援組織がどのようにして台湾の長期戦に寄り添い、今後どのような形でこの問題を解決していけるのかを考えることだ。

東京会場では、代々木公園にて青空教室の形で開催され、あいにくの暴風雨にも関わらずSNSなどネット上の呼びかけにより集められた約500人も人も見受けられた。また、今回の活動のためにわざわざ台湾から足を運んだ台湾人もいた。日本での声援活動の目的は、集会という方式を通じて、在日台湾人、または台湾に関心を持つ日本人の力を結集し、台湾で現在も立法院(国会)の占拠を続け、両岸サービス貿易協定の撤回を訴えている学生らに声援を送ると同時に、対話を通じて多角的な声を理解し、日本の声援組織がどのようにして台湾の長期戦に寄り添い、今後どのような形でこの問題を解決していけるのかを考えることだ。

東京会場では、代々木公園にて青空教室の形で開催され、あいにくの暴風雨にも関わらずSNSなどネット上の呼びかけにより集められた約500人も人も見受けられた。また、今回の活動のためにわざわざ台湾から足を運んだ台湾人もいた。日本での声援活動の目的は、集会という方式を通じて、在日台湾人、または台湾に関心を持つ日本人の力を結集し、台湾で現在も立法院(国会)の占拠を続け、両岸サービス貿易協定の撤回を訴えている学生らに声援を送ると同時に、対話を通じて多角的な声を理解し、日本の声援組織がどのようにして台湾の長期戦に寄り添い、今後どのような形でこの問題を解決していけるのかを考えることだ。

## 【台北駐日経済文化代表処前で抗議活動】

抗議活動は3月26日、台湾研究フォーラム(台湾研究論壇)とともに台北駐日経済文化代表処前で抗議活動を展開した。「3.26頑張り(加油)台湾民主運動!緊急国民行動」としてこの活動は、台湾で学生らが実行行使した「台湾立法院占拠」を支持し、馬英九政権に対する不満や占拠に対する一方的な鎮圧に抗議するためと見られる。



駐日経済文化代表処の前にて約100人が政府に講義

参加者は、「頑張り台湾」や「両岸サービス貿易協定撤回」などのプラカードや日本国旗をもって参加。日本国旗の他に台湾のシンボルカラーである緑の台湾が描かれた旗も掲げられていた。代表処前では、台湾研究フォーラム会長の永山英樹氏や、作家の黄文雄氏、台湾

独立建国聯盟日本本部の王明理委員長などが代表処の執政集団に対し、「台湾人の人権と生命、そして台湾を守ってほしい」と呼びかけ、同時に声明書の受け取りを要求した。これに対し代表処は、呼びかけ開始から約30分後に代表処門前にて代表処職員が声明書の受け取りに応じた。

## 「台湾はいま岐路に立っている」

今回の騒動について全体的な理解は、日本の報道でも、台湾の報道でも掴めないのではないかと、数十万人を動員したデモとなった今、外国人(第三者)による客観的な観察が求められているのではないかと、本稿では、今回の騒動の展開の理由を確認し、今後の展開を、デモを主導している黒島青空青年陣線(黒島青)・デモの一般参加者/台湾社会・馬英九政権の三者の関係から考察したい。(今回、特別の言及がない限り、黒島青の動きについては黒島青幹部に近い江島壽氏とメディア対応担当の謝邑露氏へのインタビューによるものである)

3月18日、台湾の国会にあたる立法院で過半数を占める国民党によって、服貿協定は審議充分として委員会を通過した。これに反発した黒島青によって、立法院はその夜から現在まで占拠せられるに至った。

その時点で、彼らが台湾社会に向けて発信した主張は、大きくまとめると3つあり、さらに6つに細かく分けられる。

- A:服貿そのものに関する主張
  - 1:今回のサービス貿易協定は不平等なものであり、中国からの実質的「移民促進」などを含む。
  - 2:サービス貿易協定では、多くの中小企業が打撃を受けることが想定されている。
- B:台湾の独立性に関する主張
  - 1:Aの部分から発展し、服貿は台湾の主権を損害するものとなり、中国による統一への道を進むことになる。
- C:行政的・民主的手続、民主的正当性に関する主張
  - 1:今回のサービス貿易協定締結にあたり、締結前に経済的影響などに対する試算がどの省庁でもされておらず、その後もされていない。さらに、公聴会の開催なども消極的であった。
  - 2:国民の75%が求める逐条ごとの批准審議ではなく、一括的に審議を進めた。さらに、立法院での審議を強引に打ち切り、強行採決へと踏み切った。
  - 3:10%を下回る支持率の馬英九政権に、この様な大きな政策を進める民主的正当性はない。特に服貿そのものについての主張の根拠は、黒島青の立場に近い学者による説明にあり、それを纏めた資料がFacebookなどで頻りにシェアされた。しかしながら、この主張に対し

ては、今回の服貿を過度に危険視したものと見える。例えば、中国からの「移民」が増えるという話は、後日馬英九が明確に否定した。更に、去年6月に服貿協定を中国と締結する際、日本のメディア・学界などは中国側が台湾との交流を進展させるために譲歩したと考えられていた。また、「密室協議」だという批判は、一定の妥当性はある。例えば、王金平立法院長は国民の多くが求める逐条審議を行うと発言したものの、最終的には一括審議となってしまう。更に、立法院が開く公聴会も参加者や回数が限定されたものであった。ただ、実際服貿協定が台湾社会でそれほど注目されていなかったことにも言及しなければならぬ。例えば、様々な学会で「研究討論会」が行われたものの、台湾人学生の参加率はそれほど高いものではなかった。しかしながら、服貿に関する様々な「誤解」は上述のようにFacebookなどで一気に拡散し、その他の主張とあいまってデモ参加者動員に一定の役割を果たした。

3月18日から20日まで、立法院で行われていたデモ集会は大きく3つに分けられる。立法院の正門前、立法院の南側の濟南路、そして黒島青によって占拠された会議場の前青島路である。それぞれの地点で、簡易なステージが設けられ、登壇者によるスピーチがなされた。筆者はスピーチの内容や、20-30人の参加者へインタビューから、それぞれの主張の重点が微妙に違っていることが分かった。

まず、青島路では黒島青が議場の屋上から、服貿の「不平等性」や中小企業への悪影響、立法院占拠の「正当性」を訴えた。更に注目すべきは、自由貿易そのものに対する批判も繰り返されていたのである。青島路では、他に黒島青に近い学者やNGOによる「路上講義」も開催された。

次に、濟南路では黒島青の立法院突入で彼らの主張を知り、賛同した学生が中心となって集会が持たれた。また、ここでは民進党の立法委員の姿も多く見られ、特に民主的プロセスに関する批判が重点的になされた。

最後に、立法院正門前であるが、ここはいつも台湾独立派の最右翼である「公投護台湾連盟」が拠点を構えるところである。やはり、ここでは台湾の主権・独立性に関する問題が議論されていた。更に、「中華民國」は外来政権だという主張もあった。

この期間で、一般のデモ参加者の最も多くが重点を置いたのは、民主的なプロセスに対する批判である。このような参加者は、続々と増え続け、21日以降は立法院のブロックをデモ参加者で囲まれるまでになり、場所による主張の違いが見えにくくなった。

それに加えて、主流メディアはデモ参加者・黒島青に批判的な報道がなされ、更にメディア自身が騒動を起こし、それを学生が起こしたかのように報道した。これに対する批判もまた、多く聞かれるようになった。20日から21日にかけて行われた国民党寄りのTVBSによる世論調査では、48%が学生による立法院占拠を支持、40%が不支持とした。この時点での反服貿は数十万人を動員するものではなかったと言える。

風向きが変わるのは、23日の夜に行われた行政院占拠からである。学生を中心とする200人は非武装で、行政院に押し込んだ。しばしばデモが行われる立法院と違い、行政院周辺でのデモや集会は非合法である。その為、警察は強制排除に力を入れたのだが、それは極めて暴力的なものであった。名札や個人を特定する腕章を外した機動隊が、無抵抗のデモ参加者を警棒で殴りつけた。これが翌日台湾社会に知れ渡ると、これに対する批判が多くなされた。24日に行われたTVBSの世論調査では、行政院占拠については不支持58%、支持30%であるものの、立法院占拠を継続することに対して51%が支持、38%が不支持とし、支持が漸増したのである。更に、服貿協議撤廃することについては、支持が63%、不支持が18%とまでになった。

つまり、今回の服貿を巡る批判は、元の3つの主張に、国民党寄りのメディアへの批判、警察への批判を加えてここまで大きなものとなったのである。

次に、今後の展開を考えるために、黒島青・デモの一般参加者/台湾社会・馬英九政権の三者の関係を考察する。まず、馬英九政権について考える。そもそも、上述の通り、服貿協定については中国側が譲歩したことは間違いない。それでも、馬英九政権がここまで法案成立を急いだ背景には、今年北京で行われるAPECに自身が参加したい意図があるのだろう。その目的は、2016年で任期満了となる自身の実績づくりだとも言われる。だが、それ以外の大きな目的は、共産党政権に「中華民國」の存在を認めさせることにあるだろう。こ

れまで、「1つの中国」を巡る中台での駆け引きが常に行われてきた。共産党は「中華民國」の現存を認めていない。国民党を「中国寄り」とする見方は台湾でも日本でも強いものであるが、国民党の「親中」は「親中華民國」であって、「親中華人民共和國」ではない。国民党も統一は望むものの、共産党が主導するものは拒否する。国民党の保守派であればあるほど、「反共産党色」はますます濃い。

しかし、その一方で台湾社会で馬英九政権は、やはり「殞中」であると見られることはしばしばある。今回の騒動での「誤解」に関する説明をしても、「嘘だ」、「中国から指示を受けている」という批判を受けてしまう。今回、服貿協定を撤回すること以外、ほぼ全て要求を飲んだ馬英九政権側に残された選択肢は、もはや殆どなくなってしまった。

次に、デモの一般参加者/台湾社会と黒島青についての考察を試みる。それには、まず黒島青組織の成立と組織形態、意思決定プロセスを確認しなければならない。黒島青はちょうど1年前ごろ、中国寄りと言われる旺旺集団に中国時報が買収されたことに対する反対デモの組織から多くのメンバーが参加したという。中心となるメンバーが、Facebookなどで友人を誘い、何度も討論を繰り返してきた。ここには、黒島青のメンバーの他、学者やNGOなども参加していた。

その後、黒島青が立法院を占拠してからは、黒島青のメンバーではなかった多くの学生が自発的にボランティアとして黒島青の運営を支え始めた。彼らは、それぞれの特技等を活かし、翻訳班・物資班・医療/救護班・メディア対応班などに分かれて活動している。また一般のデモ参加者の誘導やゴミの回収・分別作業、緊急車両の通行を助けるなど、デモの行政組織として非常に機能している。この様に高度に組織化された集団の意思決定は、「小組」と呼ばれる15-20人が担当する。このメンバーはいつも一定ではないが、中心となるメンバーは黒島青の幹部が3分の1、学者が3分の1、NGOが3分の1である。この「小組」の参加者に対して、他のメンバーやボランティア等は直接・間接に意見を伝え、意思決定プロセスに関与する。

ところで、黒島青の主流イデオロギーは、史明という人物の思想の流れからくると言われる。史明は、日本統治時代に台湾で生まれ、戦後は日本で過ごした台湾独立論者でかつ、

1度は中国共産党に参加したマルクス主義者である。黒島青の幹部が目指すところも、台湾独立と社会主義であり、反自由貿易であると言われる。しかし、この主張は、台湾社会全体として容易に受け入れられるものでもないだろう。更に、立法院占拠の学生メンバーの大多数が、立法院占拠後に参加した者であり、彼らがそのイデオロギーに賛同するかは不透明である。このことが、立法院占拠後の黒島青が今後の展開に関する立場を一定に出来ない要因であろう。

元々、立法院を1日占拠し、社会の関心をひくことを目的とした活動は、1日1日を重ね、服貿の撤回・逐条審査に加えて、両岸協議に関する規則法の制定・両岸協議に関する監督組織の設置など要求も増加・具体化していった。上述の通り、服貿の撤回以外の要求を馬英九政権が飲んだ。黒島青は立法院占拠続ける決定を下した。

以上から、今後のシナリオは2つ考えられよう。共通するキーワードは台湾世論である。服貿の撤回という要求のカードしかなくなった黒島青が、どこまで世論の支持を得続けられるかは不透明だ。立法院占拠に対するカウンターデモも開始されている。

1つ目のシナリオは、世論による立法院占拠の支持率が下がったところで、立法院長の王金平が強制排除に同意する。しかし、これは政権にとっても大きなダメージになることは避けられない。

2つ目のシナリオは、黒島青が世論の動向を読み、どこかで自主的に折り合いをつけるというものである。だが、これも馬英九政権が譲歩した後の、立法院占拠継続を決定した今、折り合いをつけるポイントは失われたようにも思える。「小組」に参加するレベルの関与者からの離反などから、空中分解的に立法院占拠終了の決定を下すことも考えられる。

最後に指摘しなければならないのは、2つのシナリオとも台湾世論の立法院占拠にたいする支持が下がるのが前提だ。この前提がない限り、問題の長期化は避けられないだろう。今後の動きに注視したい。

**吉田 知史(Yoshida Tomofumi)**  
同志社大学法学研究所政治学専攻  
博士前期課程(碩士)1年次生  
國立臺灣大學國家發展研究所  
交換留學生(2013.9-2014.7)

## 皆様からの生の声

もともと中国との問題を考えるとき、台湾では様々な意見が出てくる。「両岸サービス貿易協定」はECFAに基づいたものであり、台湾にとっては経済と貿易の挑戦のために必要なものである。今回の状況に対しては、総統府、立法院、行政院がよく話し合って意思疎通し、理性的、平和的に知恵を絞って問題点を解決していくべき。(アジア問題懇話会・講演中のコメントより)

台北駐日経済文化代表処 代表・沈斯淳

学生たちがこのまま立法院占拠を続けていては解決に向かわないだろう。どうか皆さんには冷静になっていただきたい。落ち着いて話し合い、台湾の未来を考えるべきである。

株式会社中正堂會館 社長 林雪美さん

今回の件については、政府と学生たちの間に良い共同の認識が生まれ、国家や台湾の未来のことを考え、皆様が冷静に客観的判断をし、将来に後悔を残さぬことを希望します。

東京台湾商工会議所会長 錢鈔玲さん

台湾の未来は、台湾人が決めるべきである。今回は、台湾の学生や若者達が声を上げていることが重要だ。事態が沈静化した後に何が待ち受けるのか。台湾の平和と平穩を願いながら、事態を注視していきたい。

日台若者交流会代表 安西直紀さん

「台湾の民主を守れ!3月30日海外台湾人よ立ち上がれ!」は私たちの声を政府に届けるための場でもあり、私たちが理性的な思考を持つための場ともなった。皆さんにはもっと長い目で台湾の未来について考えて欲しいと思う。台湾はまだ多くの道を進んでいかなければならない。「台湾の民主を守れ!3月30日海外台湾人よ立ち上がれ!」  
東京地区リーダー 何時宜さん

# 人物インタビュー 駐・那覇弁事処蘇啓誠処長インタビュー



日本の拓殖大学の学生20人が夏休みを利用して我が校(私立東興大学)に短期語学留学でやってきました。その際に我が校からも10人のチューター(学生への学習助言や教授の補佐を行う者)が選ばれ、その中に私も運よく入りまして、同世代の日本人学生に世話をするなかで日本に興味を沸かしました。その後、日本語教育に熱心な教授と出会い、大きな影響を受けました。

平成25年12月2日付で駐・那覇弁事処処長に就任した蘇啓誠氏に抱負を聞いた。  
**Q:**日本語との出会いは。  
**A:**大学から。大学受験は、私たちの時代は自分の点数に見合った学科に自動的に振り分けられていました。当時、英語を希望していましたが、たまたま私の点数が日本語学科の点数に合致しました。入学した1975年は、台湾と日本が国交断絶後、3年目ということで気分としては英語を勉強したかったですね。  
**Q:**大学で学んだこと。  
**A:**大学2年生の時に交流協定を結んでいる

奨学金で日本の大阪大学大学院に留学しました。日本は初めてで、忘れもしない4月2日、同期全員で東京に行きそこからそれぞれ留学先に分かれたんですが、新幹線から外の景色を眺めながら台湾より進んでいるという印象を持ちましたね。  
**Q:**外交部に入った経緯。  
**A:**88年に大阪大学大学院を卒業した後、駐大阪弁事処の現地採用に応募して合格しました。国家公務員の資格はありませんからキャリアへの道は閉ざされています。ただ、周囲の人たちを見ていて私も外交官になれるかと、独学で勉強し、受験しました。京都大学(博士課程)に留学していた家内からは無理だと言われましたが、その通りで1年目は失敗し、2年目にやっと合格しました。年齢制限ぎりぎりの34歳の時です。  
**Q:**東京の代表処勤務が2回あるが。  
**A:**合わせて10年と1カ月です。1回目は95年1月から2001年1月まで、2回目は2007年7月から2011年8月まで。1回目は国会議員や地方議員などのアテンドを中心とした政務の仕事でした。2回目は馬英九現総統が選挙前に東京を訪問した際に通訳などを務めました。2008年、政交代後、馮寄台代表が就任し、秘書として仕えました。



蔡茂豊先生と拓大の研修生(今は日通台北支店長)

## プロフィール

蘇啓誠(そ けいせい) 処長:1957年8月1日生まれ。嘉義県出身。1979年6月、私立東興大学日本語学科卒業。1981年6月、私立中国文化大学大学院日本文学専攻修士号取得。1988年4月、国立大阪大学大学院日文学専攻修士号取得。1991年1月、外交部に入る。以降、台北駐日経済文化代表処、亜東関係協会、那覇弁事処での勤務を経て、2013年12月、駐・那覇弁事処処長に就任。

## 東京台湾の会が勉強会開催



喜久四郎会長

東京台湾の会は3月13日、都内で勉強会・親睦会を開催した。勉強会は、喜久四郎会長が保有する映像資料を鑑賞しながら同会長より統治時代の台湾の様子を解説してもらおうというもの。

第一部の勉強会は、進行役の喜田修副会長が東日本大震災の犠牲者を悼み、全員で黙祷を行った。次いで喜久会長が開会の挨拶を行い「昔から8ミリ映像の撮影や映像収集に興味があった」と話し「今回披露するフィルムは昭和14年当時の台湾の様子を撮ったもので、統治時代の日本人と台湾人の様子がよくわかる」と説明した。三宅教雄顧問によ

る喜久会長のプロフィール(喜久会長は、台湾原住民地区の警察官の5男として、1925年<大正14年2月>に生まれた)紹介の後、上映が行われた。映画は台湾の街並みやイベントなどを台北を起点に、台湾全土に渡って紹介したもので、なかでもタイヤル族の男女の踊りが印象的だった。また、日本人と台湾人が仲良く暮らす様子も描かれていた。「オマケ」に今、台湾で大ヒット中の映画「KANO」(嘉義農林学校)を扱った古いドキュメンタリー映像も流され、参加者は熱心に見入っていた。

第二部の懇親会の進行は松澤寛文理事。呉正男監事の開会挨拶の後、台湾協会の根井洵理事長が来賓として、台湾協会と東京台湾の会の関係や事業内容を紹介した。続いて台湾協会齋藤毅前理事長は「この2月台湾の大武山(3090m)登山に挑戦し、3000m地点に建立されている高砂義勇隊の顕彰碑にお参りしてきた」と報告した。開会の挨拶は三宅教雄顧問。挨拶に高座日台の会の野口啓会幹事は、同佐野野香会長が立った。閉会の辞はいつも通り中島欽一元理事だった。

## 日本台湾福祿壽會の例会・親睦会が開催



参加者の皆さん 慢料理をメニューに取り入れているとも話していた。

日本台湾福祿壽會(林丕繼会長)は3月9日、例会・親睦会を池袋・東明飯店で開催した。20人を超える会員が集った。昨年10月16日の臨時監事会で会の名称が日本福祿壽會から現行の名称に変更後の初会合だった。

林会長は、日本の平安時代に書かれたという詩文を紹介しながら「世の中の道は風と霜ばかりで厳しいが大切なのは自分の心をどう

磨かである。世の中は白が黒になつたり、貧乏人は有罪、お金持ちは無罪になるなど理不尽がまかり通るが、正しい道をどう歩くかが大事だ」と話し、「(老人は)毎日を楽しんで笑って過ごしましょう」と挨拶した。また、いつも東明飯店の料理長と打合せしながら参加者の(台湾の)出身地の自

り入れているとも話していた。次いで元日台湾商工会議所李懋楨会頭は「今日は日曜日、ご多忙にもかかわらず遠路より参加していただきありがとうございます」と、80代、90代の参加者をねぎらった。乾杯の首領は、現在99歳になる林錦漫さん(日本華商總會理事長)だった。その後の親睦会では、若手といわれる参加者が「福祿壽會は55歳から参加できます。定

年を迎えると付き合いが減りますし、寂しくなつたり、孤独にならないように2カ月に1回程度の開催です。なるべく若いうちに参加してもらって、この会をどうやって盛り立てていか一緒に考えていきたいですね。会を支えるのは僕らの義務だと思っています」と述べた。

後半には集合写真の撮影や日本の軍歌や歌謡曲を合唱する場面もあった。歴史の生き証人が集う同会は、かつての「台湾統治時代」を経験している希少な人々から構成されている。



林丕繼会長

## 日台若者交流大会で一般社団法人化を示唆



大会の集合写真。震災後の台湾への感謝を伝えるために沢山の若者が集まった

者は、日台合わせて約80人。会のさらなる活発・活性化を目的に法人化を目指すものと見られる。現在の参加者は、学生と起業家が多くを占めている。

挨拶で安西代表は「東日本大震災から間もなく3年が経つ。あの時の台湾からの200億円を越える義援金のエピソードを忘れない。それは、単に金銭の大小の問題ではなく、海を越え国境を越えた人同士の心と心が繋がるといふ思いに触れることが出来たからです。我々のスローガンは「超越国境」。日本と台湾は特別な関係だからです」とし、さらに「本年は会を日台双方で社団法人化したいと考えています。日台から多くの参加を期待しています。年齢は問いません。気持ちがあればどなたでも歓迎します」と、一般社団法人化の考えを示した。

この後、亜東関係協会秘書長の羅坤燦氏、公益財団法人交流協会台北事務所の総務室長兼経済室主任の小松庸人氏が震災後の日台のエピソードを交えながらスピーチを行い、台湾高座会総会長の李雪峰氏が乾杯の発声を行った。さらに、台湾日本人会及び台北市日本工商会事務局総幹事の山本幸男氏、株式会社フジテレビジョン国際部の吉川宏氏がスピーチを行った。

大会では東日本大震災の被災地である宮城県山元町で行われている「黄色いハンカチプロジェクト」のブスが設置され、3月11日に山元町で掲げられる黄色いハンカチに台湾の人々も激励のメッセージを書き込んだ。

このほか、安西代表は李登輝名誉会長と懇談し、さらに次期台北市長選の有力候補者の柯文哲氏とも会談するなど、有意義な訪台だった。

なお今大会は、主催が日台若者交流会で協力は公益財団法人交流協会台北事務所および鶴岡くに奨学金基金プロジェクトだった。

## 求人情報

### 第一商業銀行徴求菁英

- 工作内容: 一般銀行業務
  - 招募条件: 1. 大学商学科系畢業(懂中、日文, 基本的P C操作) 2. 日本國籍者、或擁有居留權/永住者
  - 應徵方法: 請郵寄附有照片之履歷表至本行
  - 交通: 【JR線】東京車站丸之内北口5分 【地下鐵】千代田線、半藏門線、東西線、丸之内線、都營三田線
  - 地 址: 從大手町車站走路至 A5 或是 B2a 出口約1分鐘 〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-1-1 大手町野村ビル 23 階
- 第一商業銀行東京分行

## 求人情報

- 【職 種】事務
- 【仕事内容】事務全般(国際貿易知識必要、通関業務経験者、中国語のできる方優先)
- 【雇用形態】アルバイト(アルバイトから正社員への転換可)
- 【時 間】10:00~18:00
- 【休 日】土日、祝日
- 【給 料】時給 @1000円(試用期間3ヶ月)
- 【勤務先】〒107-0062 東京都港区南青山3丁目1番7号 青山コンパルビル3F
- 【選考方法】書類審査、個別面接
- 履歴書、職歴書を弊社の総務部人事担当 渡辺宛に郵送

モニエールジャパン WEB: <http://www.smile-mon.jp>  
 〒107-0062 東京都港区南青山3丁目1番7号 青山コンパルビル3F  
 電話:03-6804-2430 担当:渡辺 和歌子

## 簡単に効率のよい経理を支援します



## 大塚会計事務所

起業された方や、J-SaaS(サーズ)やパソコンで会計を始めるといふ方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい  
 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-1 佐伯池袋ビル306  
**TEL: 03-3985-5730**  
**FAX: 03-3985-5731**

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

## 嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

- 代辦中國、東南亞諸國簽證 ● 世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
- 來日團體的酒店、派車、導遊 ● 電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(普)3678888(名義)嘉南觀光(株)  
 精通國、臺、日語服務親切

營業時間: 週一~五 9:30~18:30 週六 9:30~13:00  
**TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989**  
 地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401

# 「FOODEX JAPAN 2014」が盛大に開催



台湾美女とキャラクターも加り開幕式は鮮やかに彩られた

アジア最大級の食品・飲料専門展示会「FOODEX JAPAN 2014」(第39回国際食品・飲料展)が3月4日から7日まで、千葉・幕張メッセで盛大に開催された。4日間の期間中73000人の来場者で盛況だった。

毎年ビジネス拡大の絶好の場として内外から高い評価を受けている同展は、昨年比で海外からの出展数が2割程度増加。台湾パビリオンは、海外出展78か国の中で4番目に広いスペースだった。

台湾企業は全120のブースに分けて展示された。台湾フルーツはもちろん、安全・健康・便利を追求した台湾各地の名産品が勢ぞろいしていた。初日の4日には、TAITRA 副秘書長葉明水氏や台北駐日経済文化代表処副代表徐瑞湖氏など首脳陣らとともに開幕式典も行われた。

式典の挨拶で葉明水氏は「今年最も力を入れているのは台湾の海洋深層水だ。海洋深層水を作れるのは日本、アメリカ、そして台湾くらいだと思う。是非日本の皆様にご覧頂きたい。また、日本と台湾の貿易がより一

層活発になることを心より祈っている。そのために我々台湾貿易センターの方でも全力でサポートしていきたい」と述べた。

その後、葉明水氏は各ブースを回り、台湾の名産品を堪能。なかでも、今回初出展で弾力のある歯ごたえが自慢の「南僑刀削麺の牛肉麵」や高雄市阿蓮区農会の「ドライなつめ」に注目していた。そのなつめは、来年には日本への輸入が可能になるという。今後の日台間における貿易のさらなる活性化にも期待していた。



牛肉麺を堪能するTAITRA副秘書長葉明水氏

# 広島から台湾へ「オタフクソース」の展開

広島発「お好み焼+お好みソース」の積極的な海外展開をしている「オタフクソース」の現場統括者で国際事業本部海外営業部の宮田裕也部長に聞いた。

Q:台湾での「現場の様子」は

A:井上貴博「現在、輸出している日本生産品は、出張して定期的に現地営業活動しています。台湾進出した理由は、台湾が『親日国家』であり、日本文化の普及も見受けられ、食文化も似ていることがきっかけです。数年前から外食(レストラン等)、中食(コンビニエンスストア惣菜等)を中心に、お好み焼など日本メニューの提案営業を行ってきました。現在は内食(家庭内調理)市場にもアプローチを掛けており、順調な進捗状況です。台湾で多くの料理屋が「オタフクソース」を使用し、台湾の一般家庭への浸透度も高い。積極的に現地に赴く宮田部長をはじめとする海外チーム...。堅調な展開を見

せているが、台湾での展開初期段階ではハードルに遭遇したと言う。「お好み焼(大阪焼)メニューの認知、ソースの認知は日本に比べ低く、一からメニューや食文化の普及を行わなければいけないことでした。それでも、日本のスタンダードを提案しながら、現地の味、価格、調理環境等に合わせた独自の内容を培いました。関わる営業、スタッフ等の人材も「グローバル化」していく最初のエリアとして親日の台湾は有意義でした」。

Q:台湾各地に精力的に足を運ぶ現状と

A:「今後の展開」は井上貴博「台湾では、現在の活動を継続的に展開していく予定で「内食市場」にも更に



台湾の台所に根付くオタフクソース

挑戦していきます」。広島から台湾へ...。グローバル展開をモットーに掲げる「オタフクソース」。日本の「ソース」は「お好み焼」という日本の食文化とともに、台湾にしっかりと根付かせる活動に惜しみない努力を重ねている。

# 台湾2.28時局講演会が開催



台湾独立建国聯盟日本本部王明理委員長

台湾独立建国聯盟日本本部主催の台湾2.28時局講演会が3月2日、都内ホテルで開催された。後援は在日台湾同郷会、在日台湾婦女会、メルマガ「台湾の声」、日本台湾医師連合、日本李登輝友の会など全11団体。会場は満席だった。

冒頭、参加者全員による黙祷が行われ、次いで台湾独立建国聯盟日本本部王明理委員長は、2.28に毎年講演会を実施してきた背景について、台湾人の真の独立国家がいまだできていないこと、歴史から学んで将来を展望する必要があることを挙げ、1947年2月28日の中国国民党政権による大弾圧、その後の38年間に及ぶ戒厳令下における白色テロの恐怖を振り返った。「1945年の敗戦により、台湾から日本軍が去った後、中国国民党軍がやってきて台湾を植民地にしてしまった。その後、(国民党軍が)1949年に毛沢東に敗れて台湾に全面逃亡してきて以来、1987年の戒厳令解除まで続いた台湾人への迫害や弾圧を白色テロといいますが、この言葉はフランス革命時に生まれたもの



蔡焜燦氏

で、政府による市民に対する恐怖政治を指します。今日はこうしたなかで苦勞された蔡焜燦先生がお越しです。滅多に聞けない貴重な話を聞かせていただきたいと思ひます」(王委員長)と挨拶した。

続いて、2.28事件を知り、いてもたってもいられず作ったという「交響詩228」の作曲家、山口大学河津清名教授が挨拶した。

講演(講師)は、知日派で司馬遼太郎の紀行文集『街道をゆく-台湾紀行』で案内役を務めた著名人、蔡焜燦氏の弟、蔡焜燦氏だった。蔡氏が登壇すると満席の会場から大きな拍手が起きた。蔡氏は「台湾の白色テロ1950年代-その実情と現代における意義」と題し、時にジョークを交えながらその苦難の生涯を披露した。1950年9月、その2年前、高中2年(17歳)の時に参加した「読書会」を理由に逮捕され、数カ所の拘留所をたらいまわしにされたあげく、懲役10年の刑に服すことに。9年以上入獄した「火燒島(緑島)」での体験談は、「白色テロ」の理不尽さを強烈に印象づけた。また、刑を終えた後の進学や就職



金美齢さん

での不当な差別にもかかわらず、事業で成功し、もしくは組織で評価を獲得していく蔡氏の不屈の精神に参加者は驚嘆させられていた。

質疑応答後、金美齢さん(評論家)が登壇した。金さんは、60年安保で知られる岸信介元総理大臣と蒋介石元総統との外交裏話を披露し、台湾独立のチャンスは蒋介石元総統によって葬られたといったエピソードを交えながら「日本人の皆さん、2.28の集会をはじめからこれまで少しずつ努力を続けてきた結果、今日、これだけの方が集まってくれました。私たちは、日本にとって台湾はとても大切な国だということを(申し上げてきました)。日本人が目覚めてくれるのを待ち続けて来ました。今後も待ち続けたいと思ひます。幸い、日本は安倍政権になりましたので期待しております。次の台湾総統選では『日本人もこの選挙を応援しているよ』というメッセージを是非とも届けて欲しいと思ひます」と結んだ。

閉会の挨拶は、黄文雄前台湾独立建国聯盟日本本部委員長だった。

# 玩具市場の支援策で 育児市場総合セミナーが開催



陳英顕所長が「台湾経済及び医療市場の現状について」と題した解説を行った

台湾貿易センター(TAITRA=東京事務所陳英顕所長)はこのほど、児童向け玩具市場拡大を目的とした「医療介護・育児市場総合セミナー」を開催した。都内ホテルで3月12日に開いたもので、「台湾からアジアへ!~医療介護・育児市場に関する総合セミナー」に定員60人が参加した。

台湾唯一の子育て支援産業展(「2014台湾医療・介護・漢方・親子産業見本市」)が今年6月19日~22日に台湾世界貿易センター(台北)で開かれる。そのプロモーションも兼ねた同セミナーは、メイン講演に(財)台湾玩具&児童用品研究開発センターの黄獻平ジェネラルマネージャー(博士)を起用。テーマは「台湾キッズ・ベビー・マタニティ市場及び日中台の3国間連携」だった。さらにマクロな視点から陳英顕所長が「台湾経済及び医療市場の現状について」を題材とした解説を行った。また、TAITRA台北本部徐毅勤プロジェクトマネージャーが先に開かれる「子育て支援産業展」のロビー活動も展開した。

4歳)が1300万人、同年の市場生産額が3200億元、子供一人当たり年平均消費額が2000元である、としている。「実は台湾では中国大陸で作った玩具が80%の市場占有率に対し台湾から中国へは1%程度しか輸出していない。中国の百貨店をリサーチすると高価な玩具がたくさんあります。私たちは、日本と台湾のメーカーが中国進出しやすいようサポートするのが大切な任務です」(黄獻平博士)と、市場拡大が期待できる中国市場向けへの支援策を講じる構え。

このほか講演では、台湾を中心に中国、日本市場での玩具の商品検査(品質・安全保証)の現況報告もあった。(中国=3C、日本=STマーク)。また黄博士は「私の所属する(財)台湾玩具&児童用品研究開発センターは、3CやSTの認証取得に向けて努力を積み重ねています」と話していた。



TAITRA東京事務所陳英顕所長



財団法人台湾玩具&児童用品研究開発センターの黄獻平ジェネラルマネージャー(博士)

# 台湾スマート・グリッド産業フォーラム2014が開催

台湾經濟部国際貿易局は2月27日、東京ビッグサイトで「台湾スマート・グリッド産業フォーラム2014」を開催した。第4回国際スマートグリッドEXPOの期間中に併設して開かれたもの。

台湾政府はこれまで、省エネ環境推進のためAMI(知能型電気メーターシステム=アドバンスド・メータリング・インフラ)のプロモーションに尽力し、近年、発電から送配電に至る過程においてもスマートグリッド関連設備の普及を進めている。現状、各国で実用化に向けた実証実験が行われており、日本では、関西電力、東京電力に続き、中部電力がスマートメーターの導入を決定している。さらに東芝や日立製作所など各社の動きも活発化している事などもフォーラム開催の背景にある。

今回のフォーラムでは、台湾スマートグリッド産業協会の林法正理事長(テーマ「台湾におけるスマートグリッドの発展」)、大同公司新スマートグリッド事業部林常平本部長(テーマ「台湾におけるAMIの現状と発展」)、中興電工機械股份有限公司マーケティング部陳崇賢部長(テーマ「マイクログリッドがもたらすビジネスチャンス」)が講演を行った。

台湾貿易センターの陳英顕東京事務所所長は、フォーラムの開催に当たり「日本も台湾もエネルギー産業を育てようとしていますが、台湾の場合、実用化のスピード、つまり商品化が早い。ということはここにビジネスチャンスがあるということです。そのチャンスに当たって台湾の専門家をお呼びし、セミナーを開催したということです。台湾にはたくさんの関連部品企業もありますからね」と話していた。

一方、第4回国際スマートグリッドEXPOに台湾企業からの出展も多くみられた。その中の長園科技實業股份有限公司は、リチウムイオン電池の材料を製造・販売す

るメーカー。鉄系のリチウムイオン電池は、リチウム酸鉄を使うものと酸化鉄を使うものがあるが、同社は台湾にしかない酸化鉄の材料を扱う。「同社は特許をもっています。材料面から安全性にも優れています。用途のひとつとして今回、展示している非常用電源があります。これはソーラーパネルも装備し発電もできる優れたものです。私は日本の代理店ですが、より販売網を拡大すべく出展しました。1日、100社の来訪が欲しい」(株式会社豊通マシナリー産業機械部東京機械グループ産業機械チーム課長代理多田樹裕さん)。さらに、大同股份有限公司の陳杰克さんは、「すでに日本の大手メーカーと提携していますが、今回初めて出展したのは台湾の現状を知ってもらいたいとの考えから。台湾では弊社は台湾電力と取引があり、AMIシステムは、設置完了済です。日本では、関西電力、東京電力と商談ができたと思っています。強みはカスタマイズ能力です。また、今回出展している海外企業にも興味があります」と話していた。

※スマートグリッド(smart grid)とは、従来のアナログ式電力量計と異なり、電力をデジタルで計測してメーター内に通信機能を持たせた次世代電力量計の総称。スマートメーター(Smart Meter)を利用し、通信・制御機能を付加した電力網のことです。アメリカの電力事業者が考案した。メトリックとして、停電防止や送電調整のほか、様々な電力契約の実現や人件費削減等が挙げられる。



大同股份有限公司の陳杰克さん(右) 范維仁さん(左)

# 九州と台湾間の増便で利便性に加速

中華航空はこのほど、九州地区の運航増強を図るため定期便の増便を3月31日から実施している。宮崎~台北便をこれまでの週2から週3便に増便する。このほか、鹿児島~台北線の週4便と宮崎線の増便により、「南九州から毎日台北に飛んでいる」状態となる。中華航空・九州山口地区支店の曾煜屏支店長は「この数年で『南九州を観光したい』という台湾人のお客様の要望や台湾へ

商用で行く九州の方も増えている。旅客の需要に対応するための施策」としている。さらに、九州地区では福岡~台北便も1日2便の運航となっており、九州と台湾を結ぶ航空の便はさらに拡充した格好だ。

台北駐福岡経済文化弁事処の戎義俊支店長は、「今回の宮崎便の増便で、九州と台湾を結ぶ航空便の利便性はさらに高まった。台湾の多くの人に南九州の魅力伝えることが

できれば」としている。また、曾支店長は「台湾から南九州への観光客は急激に増えている。鹿児島は台湾でもかつて流行した大河ドラマ『篤姫』の舞台となった由緒ある場所。さらに宮崎は台湾の人々にとって『新開拓』の意味合いが強い。この増便を機に、多くの台湾人に九州の魅力を知ってもらえれば」と期待を寄せている。

Digest News

1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

March



Mar.03 沈斯淳代表が東京都知事を表敬訪問

台北駐日経済文化代表処の沈斯淳代表は外務省一都知事を訪問した。知事当選と就任に祝意を表した。また、都政の順調な推進発展と20年に開催予定の東京オリ...

ビック・パラリンピックの成功を祈念した。また、近年の台日関係の緊密化に触れ「観光はもとより他の分野でもより一層の密接な関係を構築したい」と述べた。

Mar.05 日本セカンドライフ協会が駐日代表処を訪問

社団法人日本セカンドライフ協会(JASS) 28人が台北駐日経済文化代表処を訪問した。企業・団体の定年退職者らが健康で文化...

的生活を目指す活動の一環として訪問した。駐日代表処の許国福広報部長は、同協会の来訪を歓迎した。

Mar.07 「FOODEX JAPAN 2014」で台湾パビリオン最大級

アジア最大級の食品・飲料専門の見本市である「FOODEX JAPAN 2014(第39回 国際食品・飲料展)」が開幕し、台湾は過去最大規模の「台湾パビリオン」を開設...

した。112社・団体の食品関連メーカー、商社および台湾南部地方自治体(高雄市・台南市・嘉義県・屏東県)等のブースが設けられた。参加国中4番目の規模だった。

Mar.08 東京で張炳煌氏台湾書道と「e筆」を実演

淡江大学文学部教授・中華民国書学会会長の張炳煌氏による講演会「台湾書道の新しい気運」が東京・大手町サンスカイルームで開催された。「台湾文化光点計画」の一環として、台湾文化部(省)および台北...

駐日経済文化代表処が「よみうりカルチャー」と共催し、台湾書道の特色とパソコン上で書道が楽しめる「デジタルe筆」の最新技術を紹介した。

Mar.11 東日本大震災3周年の追悼・感恩会が台北で開催

台湾日本人会主催の東日本大震災の追悼・感恩会が台北で開催。公益財団法人交流協会台北事務所の樽井澄夫代表、王金平・立法院長(国会議長)、頼浩敏司法院長、羅坤燦東東関係協会秘書長らが出席...

挨拶と献花を行った。樽井会長は「台湾の友人の皆様の支援を決して忘れることにはなくの限り日台の親善関係を促進していきたい」と強調した。

Mar.11 洪健昭さん日本語版「新台湾史」発表

台湾の中央通訊社前会長の洪健昭さんはこのほど、日本語版「新台湾史」の新刊発表会を開いた。主催は財団法人国家政策研究基金会。連戦元副総統も出席した。同史は2011年の英語版「A NEW HISTORY...

OF TAIWAN」の翻訳を3年間かけて完成させた。「日本語で書かれた台湾史の本は極めて少ない」とし「台湾人による台湾史を直接読んでもらえる」と強調した。

Mar.12 蘇治芬雲林県長が日本の農業生活体験を視察

雲林県の蘇治芬県長(知事)は重要な農業県の1つ長野県を訪問した。長野県は「若い人の県外流出対策」として「長野県温情滞留協会」を設立している。海外からの農村生活体験を呼びかけているもので環境教育活動を通して海外の若い人たちに日本...

の中高校生から数多くの体験実績を持つ。その体験を視察した蘇県長は「長野県の農業者パワーは雲林県と似ている。長野県の農村生活体験は雲林県でも参考になる。早期に協力し合い農業の国際交流を促進するため体験してもらいたい」と期待を寄せている。

Mar.18 中華航空が日本定期便を増便

中華航空はメディア懇談会で、孫洪祥・董事長(会長)が「日本向け定期便を2014年7月から172便へと増便すると発表した。2012年の週当たり80便との対比で倍以上の増便となる。さらに、「2014...

年の経済成長は前年より良好になると各界が予測している。交通部観光局も今年前比12%増と見込んでおり旅客便は期待できる」と説明した。

Mar.18 建築家高松伸氏が台中市で講演

日本の著名な建築家で知られる高松伸氏が、王至亮・台中市建築経営協会理事長の招きで、台中市政府集會堂で「都市建築の美学vs経済発展の影響」をテーマに講演した。胡志強・台中市長も出席した。高松氏はこれまで、遠東東京企業総部(台北市)や高雄地下鉄・美麗島駅出入口など台湾に建築作品を残している。講演で高松氏は、「美麗島駅は高雄市の中心部に位置し...

美麗島事件の歴史とも関係がある。その2つの要素から美麗島駅の設計を行った。台中市にも歴史的な遺跡があるから、それを建築物と結びつけることができる」として、「京都のように台中市も個性を保ち、東京やニューヨークを模倣する必要はなく、台湾といえは台中市を連想させるようにしたほうがよい」と話していた。

Mar.19 台湾観光のGDP総額増加で今年も安定成長

国連世界観光機関(UNWTO)が発表した分析レポートで、2013年の台湾への外国人旅行客数の成長率(9.64%)は世界10位だった。観光収入の成長率(12%)も世界8位。また世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)が3月に発表した2014年度の旅行・観光産業の経済効果に関する...

研究レポートによると、台湾の観光GDP総額、観光雇用数、観光投資についてそれぞれ3.6%増、5.7%増、8%増になると予測。近年台湾観光について、政府および民間の観光業者が一体となり協力している下で、安定した成長をしているとしている。

Mar.22 沈代表「台日関係の現状と展望」講演

沈斯淳代表は東京内幸町の日本プレスセンターで開かれた講演会で、「台日関係の現状と展望」をテーマに講演。一昨年5月の着任以来、台日関係の進展を説明した。WBCの台湾日本戦の感動や宝塚歌劇団の台湾初公演の好評など、双方の親近感が...

増していることを強調し、観光面で緊密になっていることも説明した。さらに6月から実施される国立故宮博物院「神品至宝展」の開催に対して「海外初展示となる文物もあり、台日関係の大きな一里塚となる」との認識を示した。

Mar.25 第11回日台文化交流青少年スカラシップの表彰会

全国の中、高、専門、大学生が参加した「第11回日台文化交流青少年スカラシップ」受賞者の表彰式が台北駐日経済文化代表処代表公邸で開かれた。今回の応募総数は1255点で、優秀賞以上の15人が表彰された。恒例の表彰式直後には受賞者が「台湾研修旅行」に向け出発した。大...

賞受賞は東京学芸大学付属国際中等教育学校3年生の山口愛生さん。なお台湾研修旅行は、呉敦義副総統への表敬訪問、台湾経済研究院訪問、東興大学や延平高級中学との学校交流プログラム、ホームステイ、国立故宮博物院や烏山頭ダムなどを見学した。

Mar.25 「台湾女性写真家展—光と影による物語」が東京で開催

「台湾女性写真家展—光と影による物語」が3月25日より、よみうりカルチャーセンターで開催中だ。同展は、汪曉青さん、張秀鳳さん、張詠捷さん、簡扶育さんなど台湾の女性写真家4人の作品が展示さ...

れている。作品は肖像、人道主義への関心、風景、先住民、文化などをテーマに、作品の一部に性別による格差解消(ジェンダーフリー)の視点を組み入れたものもある。期間は4月25日まで。

東京書作展「選抜作家展2014」に医師の周東寛さんが出品

独自の思考から様々な健康法を展開する医師の周東寛さんがこのほど、「養心磨磨」と題する作品を東京書作展「選抜作家展2014」に出品した。東京新聞主催の公募で、東京書作展の「会友・一般部門」でエントリーしたもの。周東寛さんは、「書を始めたきっかけは小学校で表彰されたこと。今回の言葉を選んだ理由は、医者として心と技を鍛えて、より一人々に貢献していける様、自己研鑽を怠らないため」と話していた。東京都台東区の東京都美術館で2月15日から2月21日まで開かれた。



第33回定期演奏会の様子(2013年)

日台交流チャリティコンサートを東京・文京区で開催予定

台湾在住の明治大学OBの招待で4月19日、明治大学マンドリンOB倶楽部が東京・文京シビックホールで「東北復興応援慈善演奏会・日台交流チャリティコンサート」を開催すると発表した。また、同時に台湾の文化人を招待してゲスト出演させる計画だ。明大マンドリンOB倶楽部は、これまで3回、台湾の雲林縣(平成18年3月)、台中(平成20年11月)、台北(平成24年11月)でマンドリンコンサートを実施している。台湾在住の明治大学OBの招待により開催しているもので、なかでも環球大科技大学(創立者がOB)と明治大学が...

提携関係にある事が交流コンサートの定期開催の要因でもある。招待されるゲストは、台湾ソプラノ歌手の呂麗莉さん、歌手の鄭瑋月さん、テナーサクソ奏者の陳國郎さん、そして日本舞踊家の林汝玲さんなど。昼の部は14時からの開演で、夜の部は17時30分からと二部制。第一部は、世界の名曲、思い出の旋律と題し、オーソレミオ、帰れソレントへ、映画音楽メドレー、日本レコード大賞メドレー。第二部は、台湾と日本を結ぶ懐かしのメロディと題し、空港、つぐない、浪花節だよ人生は、柔、湯の町エレジー、悲しい酒、古賀政男傑作集などを予定している。また指揮は大塚功夫、村山雄三、コンサー...

トマスター池田泰子、ゲストプレイヤー斉藤功(ギター)が務める予定。



第33回定期演奏会の様子(2013年)

【最新投資不動産】首都圏の優良物件情報

Table with 4 columns: Property Name, Price, Location, and Features. Includes listings for 藤沢, 辰巳, 五反田, and 軽井沢.

Table with 4 columns: Property Name, Price, Location, and Features. Includes listings for 池袋, 王子, 三河島, 錦糸町, 千代田, 大塚, 西池袋, 龍戸, 千代田, 石川台, 東千代田, and 千代田.

# 台日同名駅観光プロモーションキックオフ!

台湾観光局主催の「台日同名駅観光プロモーション」発表会・懇親会が3月10日、帝国ホテルで開催され、報道及び台湾観光関係者など150人が集まった。主催、共催、後援者など全6団体の代表が登壇するなか「台日同名駅観光プロモーションは日本と台湾にある同じ名前の駅を軸に、日本と台湾における観光相互交流の活性化を目指すことを目的として企画準備をして参りました」と司会者の説明によって発表会が始まった。なお登壇者は、台湾観光局張錫聰副局長、台北駐日経済文化代表処沈斯淳代表、台湾鉄道管理局鹿潔身副局長、一般社団法人日本観光振興協会見並陽一理事長、台湾観光協会東京事務所江明清所長だった。

冒頭挨拶した台湾観光局張錫聰副局長は、昨年5月の「台北101」と「東京スカイツリー」とのランドマーク友好関係締結、昨年8月の台湾「松山駅」とJR四国「松山駅」の友好駅協定の締結、今年2月の玉山と富士山との間の友好山協定締結などを例に挙げて、台湾と日本の緊密な交流を喜びながら「今回、新たに台日同名32駅観光プロモーションを共に発表することができて嬉しく思います。世界では違う国で同じ駅名をみかけることは多くありません。日本と台湾で32の同名駅が存在することは世界で唯一といって過言ではありません」と力を込め、日台のさらなる交流促進を祈念した。

同日観光サミット開催「ラリーニッポンin台湾」開催の成功を祝うとともに、「今度は台日双方の観光協会が協力し、同じ駅名の観光交流が進展することに期待します。そして、今年、東京と福岡で開催される国立故宮博物院の(収蔵物の)アジア初の展示は台日双方の文化交流にとって歴史的な意義を持つものと思っております」と述べた。

台湾鉄道管理局鹿潔身副局長は、日本から台湾への観光客数が記録を更新しており、昨年は約142万人に達したこと、ここ数年、台湾鉄道管理局「平溪線」×江ノ島電鉄「江の電」との一日乗車券観光連携協定や台湾鉄道管理局「松山駅」×JR四国「松山駅」の友好駅協定締結など台日の交流を活発化させていることに触れ、「私どもの駅が海外の駅と友好協定を結ぶのは初めてで、国際観光の歴史に新たな1ページを刻みました」と力を込めた。

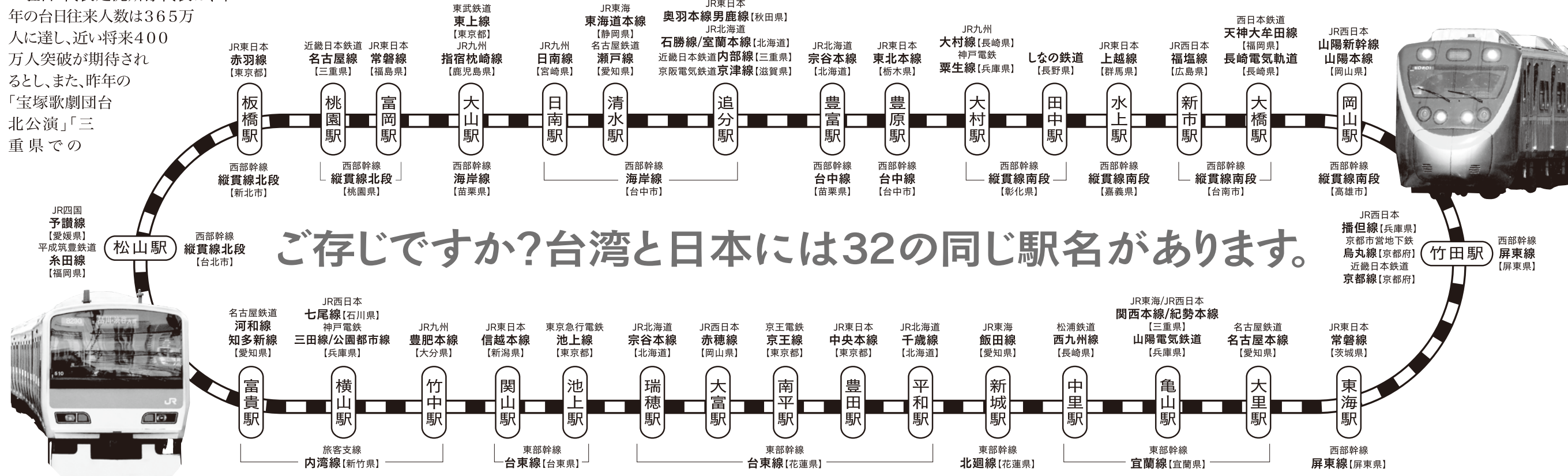
日本旅行業協会中村達朗理事長は、台日同名駅観光プロモーションへの協力を約束すると同時に「JATA旅博と旅フェア日本が一緒になり、今年から Tourismus EXPO ジャパンとなりませんが、すでに台湾から約40ブースの出展を提供いただいております」と御礼を述べた。

日本観光振興協会見並陽一理事長は、昨年5月の三重での日台観光サミットで、双方の交流人数400万人を目標に掲げたこと、日台間で同じ趣味を持つ人同士、同じ地名や地域同士が個別に交流を持つことを約束したとし、「日本と台湾の各地域の人と一緒に努力し、プロモーションをやることで400万人を達成していきたい」と締めくくった。

こうした挨拶を受け東京事務所江明清所長は、日台の観光交流の現状をスライドで説明しながら「同じだけ違う。違うけど同じ。皆さん、日台には32の同名駅があります。私どもは半年かけてやっと今日これを披露することができました。なぜ今日ですか?と3、11を意識した企画であることを示しながら「32駅の中にある富岡駅は福島にあり、被災しています。残念だけど1日も早く復興できるように祈っています」と話し「32駅の同名さん募集企画」の案内も告知していた。



左から、公益社団法人日本観光振興協会見並陽一理事長、一般社団法人日本旅行業協会中村達朗理事長、沈代表夫人、台北駐日経済文化代表処沈斯淳代表、東儀秀樹さん、台湾観光局張錫聰副局長、台湾鉄道管理局鹿潔身副局長、台湾観光協会東京事務所江明清所長



## 雅楽師の東儀秀樹さんが台湾観光親善大使



東儀秀樹さんを台湾観光親善大使に任命

台湾観光局はこのほど、3月10日に開いた「台日同名駅観光プロモーション」発表会の中で、雅楽師の東儀秀樹さんを台湾観光親善大使に任命した。観光プロモーションの一環として取り組んだもの。

日本の古典音楽を継承する東儀さんは、その才能はもとより車に対する造詣も深い事で知られる。昨年11月に台湾で開かれた「ラリーニッポンin台湾」に参加した事をきっかけに大使任命に白羽の矢が立った。ラリーニッポンの評議員でもある東儀さんは、「感謝台湾!」を合言葉に60台ものクラシックカーを台湾に運び、台湾を一周しながら各地で感謝を伝え続けたその活動が縁となった。

台湾観光局張錫聰副局長より観光大使就任の盾を贈呈された東儀さんは「台湾にありがとうを言いにかけたのに逆にありがとうと励まされ、スムーズなコミュニケーションが生まれる瞬間を体験しました。この感激を僕ひとりに留めたくないと思いましたが、音楽を通して日本と台湾の文化交流の橋渡しができる立場にいるのかなと思います。大使の任務を受けたことを誇りに思い、皆さんには応援をしていただきたいと思ひます」と話していた。小林幸子さん、陽岱鋼選手、林志玲さん、福山雅治氏に続き、東儀氏で5人目の台湾観光親善大使が誕生した。

## 台日同名32駅と同名さん大募集!~台湾で駅長体験付き・台湾旅行ご招待~



- 応募資格**
  - 台日同名32駅のいずれかと同じ名前(または名、漢字表記/本名が基準)である証明書類の提出が可能な人。
  - 日本旅券を持つ日本在住者。
  - 同企画の主旨に賛同し、行程内のイベント・プログラムに参加して団体と同一行動がとれる20歳以上の成人。
  - 日本発着台湾線定期便就航地からの出発が可能な人。
  - 台湾での関連行事における取材や撮影にご協力できる人。
- 応募方法**
  - 郵便はがきに1.郵便番号、2.住所、3.氏名、4.電話番号、5.メールアドレス、6.台湾渡航歴(回数)、7.その他コメントを明記の上、台湾観光協会東京事務所に応募。一人、一通まで有効。
- 応募受付期間**
  - 2014年3月11日~8月20日消印有効
- 抽選方法**
  - 各駅名応募者集計後、8月末日までに第三者の立会人のもと駅名ごとに公平な抽選を行い、32名を選出。9月末日までに該当者のみ当選通知を案内し、発表。



- 台湾旅行時期**
  - 2014年11月 3泊4日間(出発日は調整中)。
  - セカンドチャンスとして合計320名に台湾グッズが当たる抽選企画は、上記の台湾旅行に外れた応募者の中から抽選する。当選者には10月末日までに書類確認後、プレゼント(台湾グッズ)の発送をもって発表に代える。
- 応募に関する情報**
  - <http://www.go-taiwan.net/>よりキャンペーン情報内の特設サイトでも見ることができる。
- 個人情報の取扱い**
  - 応募者の個人情報は、今回の企画・抽選目的のみに使用し、以外の目的には使用しない。

台湾を憶う日本人④

文:林 雅行(映画監督)

## 毎朝揚げる油條 —— 珍眠の長清雅雄さん

松戸と野田をつなぐ流山街道。キョコマンで有名な醤油の街、野田市の中心街を抜けると古くからの農家が広がる。中国庶民料理「珍眠」は、流山街道沿いにある。店はテーブルとカウンター、座敷があつて80人が入ることができる。料理長の長清雅雄さんは、店の裏に家がある。1953年にここで生まれた。

長清家は400年続いでいて雅雄さんは18〜19代だという。両親は農業を営んでいた。18歳で高校を卒業した後、東京、神戸、大阪の中華料理店で腕を磨き、29歳で珍眠を開店した。1982年8月のことであつた。

店の中には台湾観光協会のポスターや台湾の各所の写真が飾つてあり、レジの横にはパンフ「台湾まるごとガイド」「台湾観光月刊」がある。「自由にお持ち下さい」。

厨房は長清さんと息子さんが切り盛りし、レジはお母さん。常連客が親しく声をかけていく。フロアは福島県白河出身の妻と女性2人。そこでなぜ台湾?

それは10年前のこと。近所に台湾人女性と結婚している人がいて、彼女が里帰りする時に台湾を案内してもらったのがきっかけだつた。その女性が九份の近くに実家があり、台北市や九份、金瓜石などを案内してもらつたという。「金瓜石を海岸に下って、海岸沿いを基隆に向かつていくと、幼い時に見た日本の風景が残っていた。それが印象的。(長清さん)。そして、台湾の味。焼餅油條が気に入った。いわゆる台湾揚げパンである。

珍眠のカウンターには油條が「台湾揚げまん」と書かれて売られている。自家製である。「毎日揚げます。私の母は毎朝2つ食べる。近所には台湾人やアジア系の人が多いので、口コミで買いくる——」人気の一品だ。

10年前の初台湾以来、年2回は台湾に出かけ食材を探すという。「せっかく行くのだから、行く度に何か発見がない」という長清さん。私もまったく同様!有名な屋台料理店に足を運んで食べて考える。日本でも同じで、時

間を使って都内の台湾料理店を訪れて味見する。長清さんの食へのこだわりである。それだけではない。日本でも話題になりヒットした『悲情城市』について「時代背景や中身を理解できるまで何度も観た。台湾に行つた時、二二八記念館にも行った」。すごく好奇心旺盛だ。

こういう人と話をしていると実に楽しい。気分は青春(!)。何を隠そう、私は長清さんと同じ歳。まわりは定年、再雇用で、現役引退も多くのんびり年金生活、余生消費の日々になってしまつて、前向きな話にならないことがある。自分で商売をしているとそうはいかない。共感します、長清さん。

話が横道にそれたような気がする。元に戻すと、野田市は年1回、産業祭が催されて、そこで珍眠は「台湾ブース」を出す。

台湾の揚げパン、焼きビーフン、胡椒餅の実演をするのだという。胡椒餅——大好物。胡椒をたっぷりきかせた赤身の豚肉とネギを包んだ生地を釜にはり付けて焼く釜焼きパンだ。

長清さんは台湾北部の淡水や烏来には行ったが、瑞芳の街は歩いたことがないという。「どんな所ですか?」ときかれた。九份・金瓜石に向かう時、台北から鉄道で瑞芳駅で降り、バスで山間を走る。「瑞芳の駅の正面に、大きな市場・食堂街がありますよ」と私は答えたが、言い忘れていたことが。入つてすぐ左側に胡椒餅の店があつて、私はここで初めて食べたのでした。「金瓜石地元の人しか行か



毎朝揚げる揚げパンと長清さん



ホカホカの台湾おこわ

い美味しい鳥料理がありますよ」「どこですか?行ってみます」。会話をしている我が心はいつしか金瓜石の店へ。

長清さんが「台湾おこわ」「ごま涼麺」「焼き餃子」を作ってくれた。満腹!満足!台湾で食べたのを越えているかも。

珍眠  
千葉県野田市谷津849  
047-124-6745

### 『これぞ本場の台湾ライフ』(21)

作家 亞洲奈みづほ

## 「学びの庭はゆったりと、亜熱帯のキャンパス・ライフ」

朝の公園を通りぬけ、あらためて語学留学先の大学へ。そんな留学&取材生活の日々。「早(ツァオ/お早う)!!」こうして今日も、1日が始まる。

あたりまえのことながら、クラスメイトも全員、私のような留学生である。韓国人、フィリピン人、インドネシア人。外国人が片言の日本語を話すならいざしらず、片言の台湾国語を話すとは。ややこしい。自分のことを棚にあげて、始めは不思議で、ならなかった。なかには華僑の者もあり、「なぜ、学ぶことにしましたか」という問いかけに、「だって華人ですもの」これにまざる動機はない。世界人口の5人に1人は話すという言語のもとに、こうして集った仲間たち。

ガラスばりの教室に、ホワイトボードとマイクの教壇。椅子を並べての授業は、常に台湾国語を聞きつけ、話つづける実践訓練の場だ。欧米式の開かれた教授法で、教科書を読み進めるといふよりむしろ、絵カードや映像を用いて、生徒を飽きさせることがない。時には果物の中国語名を覚えるために、1人1個ずつ実物を持参して、授業中に果実を分かちあつたり。聞きとり練習のために、フルーツバスケットなどのゲームをおこなつたりと、先生はこの道16年のベテランだが、はじける活気は、いかにも台湾「小姐(おじょうさん)」だ。気の利いた会話で生徒達をリードする。男子生徒のからかいもソツなくかわし、授業

から落ちこぼれがちな私にもフォローを忘れない。「あなたは どう思う?」突然に話を振られて、私は、とまどうこともしばしばなのだが。

それにしても台湾国語とは、瞬発力である。ほんのひと息の間に、漢字の造形と・意味と・発音・イントネーションという4つもの要素を含む。しかもそれを区切りながら話すわけではない。1文字1文字が、途切れなく連続するのだから、考える間もなく、ほとんどレパシーの世界だ。おかげで私は日本での学習も含めて8年間も学びながら、いまだに初級〜中級のレベルであつた。

外国語を話すとは、人格のチャンネルも変わるというが、この言語を用いれば、思考も簡潔になるのかもしれない。ただしこれは気質によるものか、中国大陸に比べると台湾の言葉は「たぶん」「少々」と言った、婉曲表現が、より多く使われるように思われる。教科書の内容にしても、中国大陸では「孫文先生について」「魯迅の文章表記」など、たいそう真面目な話題であるのに対して、台湾ではもちろん「気候・地理」「スポーツ」「学生生活」といった、オーソ



陽光さしこむ大学の教室

ドックスなテーマが中心であるもの、時おり例文のなかには、「あの女の子ってイカスよね。足は長いし、笑顔が魅力的だし」などと、きわめて実用価値の高いものが混じつていたりもする。

中国語学習と言えば、日本では、とくく中国大陸志向であるけれども、台湾のような自由主義のものというのは、なかなか他では学べるものではない。貴重な機会である。「これを台湾国語で何と表記するか、知っている?」とホワイトボードに、書かれた文字は、例えば「比基尼(ビーチニー)」「……まさかビキニ? それでは「辣妹(ラメイ)」「……ええと、ラー油の辣だから、スパイシー・ガール(イケイケ娘)!本当に自由主義の台湾国語である。

### 実例で説明する労務トラブル110番(最終回)

## 契約社員も雇用契約書が必要ですか??

#### 1. 今回の課題

電気機器メーカーA社では、業績の悪化にともない、契約社員やアルバイトなど有期契約社員の雇用を見直そうと考えています。契約期間が終了するタイミングで、更新をしないようにしたいのですが、労働問題に発展したらどうなってしまうのでしょうか?

#### 2. 経過報告

このような「雇止め」に関して、過去の最高裁の判例により、一定の場合に雇止めを認めず、有期労働契約が締結または更新されたも

のとみなす判例法理が確立しています。

つまり、有期契約社員として雇用しているつもりでも、無期社員と看做し、雇止めが解雇権の濫用とされてしまうケースが増えています。

そこで、

- ①対象契約社員の従事する業務の継続性や臨時性はどうか。
- ②更新回数、継続雇用期間はどのくらいか。
- ③正社員と比較して権限、責任は同一と考えられるか。
- ④契約更新手続きの実施(毎回更新手続きを厳格に行っているか)

⑤契約における更新条件の合意内容

⑥使用者による契約更新を期待させる言動の有無、無期雇用のような発言はなかつたか。

⑦同様の立場にある者の雇止めの実績以上の①〜⑦を総合的に勘案して、雇止めの妥当性を検討します。

#### 3. 今回の課題と対策のポイント

今回、契約期間が満了するCさんが従事している業務は、さほど熟練を要しない作業であること、今までの雇用契約は6回更新されていたが、契約期間1カ月が2回、4カ月が1回、

台湾で活躍する日本人テレビ司会者 - MATSU

## 台湾のラジオにも出演して… トーク番組における「公共性」とは

最近ラジオの活動に関わる機会が多い。以前はテレビ中心だったので、ベクトルが変化しようにも思えるが「言葉を使って表現する」ということで大筋に相違はない。台湾では「飛碟FM」で謝哲青先生の番組や、「緑色と平和電台」の番組に出演させていただいた。一方、日本ではアジアの文化や音楽を紹介するFM番組にパーソナリティやディレクターとして、或いは、AMにコメンテーターとして出演させていただき、日台で「ラジオ」との関わりを持っている。

パーソナリティを担当してしばらくの間が経つが、やはり学ぶことや再発見することが多い。「パーソナリティという職業は『話し好き』『おしゃべりが大好き』というレベルでは成り立たない」ということもその一つ。放送でゲストやアシスタントに話しを聞きながらも、常に「不特定多数の『リスナー』」に聞かされているという目線を持てるかどうかが肝心。話を進めていくにあたって、「客観性」を意識しながら番組をコントロールしていく。司会者は「自分が聞きたいこと」よりも「多くの人々が聞きたいであろうこと」を推測する力の方が必要である。客観性を持つ目が欠けると「話が内輪」になつてしま

ない」「興味が持てない」状況に陥つてしまう。

ラジオ番組での構造は、一般的なコミュニケーションの場とも似ているところがある。複数の人間が居る場所では「複数の人を満足させるテーマで話をできているか」がポイント。100%全てを満足させることは不可能だろうが、「数の論理」で「多くの人を満足させられるもの」を瞬時にキャッチして送り出せるかということが肝心。「パーソナリティには発声練習が必要だ」というがそれにも理屈がある。発声練習で鍛えられた声は『多く』の人が『長く』聞き続けられる。礼儀・マナーの類も「それらをよく使えると『多く』の人が好感を持つ可能性が高い」ということだ。発声練習やマナーなどは「決まり」ではなく、「多く」を満足させるという数的な理屈である。時折「内輪うけ」「誰のことを言っているのかよく分からない」といった番組が出てくるのは「不特定多数に見られている」という意識の欠如から来る。

「数の多さ」を感じ取れる感性こそが結局のところ、公共放送、及び、一般に向けて発信する立場に必要なもの。ラジオ、テレビ、原稿記事…形こそ違え、メディア発信には「不特定多数の人が見ているという意識」、つまり「公共性」が必要となってくるのだ。

## 中信兄弟エレファントに新加入した 林威助選手、故郷・台湾で大活躍!



林威助選手(中信兄弟)

昨年まで日本の阪神タイガースで活躍した台湾出身の林威助選手が、今年、台湾の中信兄弟エレファントに加入。故郷の台湾で、主軸打者として活躍している。球団との契約が成立した際、林選手は「自分の持っている全力を尽くしたい」と抱負を語ったが、ファンの期待通りの活躍を残している。

台湾プロ野球公式雑誌「職業棒球(Professional Baseball)」では、3月号(第384期)で、林選手の特集記事が組まれた。生い立ちから、日本留学当初の苦学、台湾プロ野球入りしてからの心情など、様々なことが林選手のコメントとともに記載されている。

その林選手を、台湾で放送のテレビ番組「大口吃遍台湾」の日本人司会者・阿松(松田直弥)氏が訪問。「多くのファンが林選手の活躍を期待しています。怪我をしないように、かつ、全力を出し切って頑張ってください」と激励した。林選手は「お越しいただいてありがとうございます。また試合に来てください」と訪問に感謝を述べた。林威助選手の加入で、中信兄弟

弟は周思齊、彭政閔とともに台湾製の打線がパワーアップ、王勝偉選手の機動力も含め攻撃力が大幅に強化された。オープン戦では主に6番を打っており、「打点を稼ぐバッター」としての期待も高まる。林選手は台湾球界入りの際、背番号を何番にするか、注目が集まっていた。阪神時代の

「31」も候補にあつたが、すでに陳江和選手がつけている。背番号未定の段階で、大口吃遍台湾の阿松氏から「近畿大学時代の8と、柳川高校時代の9で、合わせて『89』はどうか。日台のプロ野球界で尊敬されている王貞治監督のホークス時代の背番号でもある」と提案されたが、林選手は名案だとしながらも、「選手としてつけるには数字が若干重い」ということで見送り、台湾代表時代につけた『24』となった。

2010年以来、優勝から遠ざかっているエレファント。林選手の加入によって、チームはチャンピオン奪還なのか…、日本から戻ってきた大砲の活躍に期待が集まる。



野球ファンの期待を背負う林選手

半年が1回と比較的短期間だったこと、更新ごとに雇用契約書を作成し、面談の上、更新手続きを行っていたことから、雇止め法理には当てはまらないと考えられます。

以上のことから、A社はCさんの契約を更新しないことに決定しました。

しかしながら、Cさんは更新を希望されるだろうと思われるので、会社の業績について、今後の人事体制などを丁寧に説明して、納得していただくと思います。

このように、雇止めでなく解雇と判断されないようにするためには、採用時および更新時に、しっかりと雇用契約書結び、面談の上、手続きを行う必要があります。

その際に、どういった場合に雇止めがあり得るのか、更新の基準は何かも説明する必要があります。上記①〜⑦を総合的に勘案して、

労務問題を発展させないようにしましょう。

まずは、雇用契約書をきちんと締結し、くれぐれも自動更新などしないようにしておきましょう。時々、パートさんや契約社員の雇用契約書を作成されていない、また採用時は雇用契約書が作成されているものの、雇用契約期間がとつくと過ぎてしまっているのに更新手続きをしないまま勤務させてしまっている様子をお見かけします。

もちろん、雇用契約書の内容も見直されることをお勧めいたします!!

坂井 優

1989年住友海上(現三井住友海上)の研修生として台北で中国語を学び、2003年から2010年三井住友海上台北支店長、明台産物保険執行理事を歴任。台北駐在は計8年間。2003年社会保険労務士資格取得。

# 台湾若手ファッションブランド「Creative Taiwan 2014-2015 AW」が渋谷で披露



上質な本革を使用したZOODYのシューズ

「ZOODY」は台湾のレディースシューズデザイナーブランド。台湾の靴工芸技法を取り入れ、すべてハンドメイドで作られている。素材は上質な台湾の本革にこだわり、より良い履き心地及び優雅なラインを提案。ZOODYデザイナーの李麗敏さんは「台湾の靴工芸は技術があるにもかかわらず衰退してきている。これから若い人の力で立て直していきたい」と話し、台湾靴工芸の発展に意欲を表した。



Yungchin CHANGのアクセサリ

今回出展している12ブランドの中で唯一のアクセサリブランド。Yungchin CHANGのアクセサリは多様な素材を複合利用し、遊び心が溢れている。装飾性の高い有機的なラインとドッキング手法によりゴージャスな演出を目指し、着る人に華麗さと驚きのあふれたファッション体験を提案。Yungchin CHANGデザイナーの張永麗さんは「Tシャツに合わせても、ドレスに合わせても良いと思う。付けた瞬間に感じる雰囲気の変化を楽しんで欲しい。」と語った。

wisdomによるランウェイ if&nによるランウェイ

Just In Case!によるランウェイ vivacitaによるランウェイ

すぐに注目を受けたZOODYなどが続いた。そして唯一のアクセサリブランド Yungchin CHANGも参加した。同展は日本人バイヤーや日本メディアにも注目されており、ショー後のデザイナーインタビューには多くの報道陣が詰めかけていた。紡拓会の謝沛茹氏は「12ブランドそれぞれの世界観を一つのコレクションで発表することにより、台湾独自の若手ファッショントレンドをアピールしたい。自分の思考やコンセプトを素直に表現するところは台湾人デザイナーの良さだと思う」と述べていた。



今回参加したブランドのデザイナー達

台湾テキスタイル・フェデレーション(紡拓会)は3月18日、ヴェレサーレ渋谷ガーデンで「Creative Taiwan 2014-2015 AW」を開催した。経済部国際貿易局のサポートもあり、独自の個性を持つ台湾のデザイナーブランドを東京で発信することを目的としたジョイントファッションショーだった。また、同時開催の「rooms LINK TOKYO 2012-2015 Autumn & Winter」合同展示会にも参加した。

紡拓会は今年、服のブランドのほか、シューズやアクセサリのブランドも披露し台湾ファッションの豊かさを表現した。出展ブランド数は過去最多の12ブランドで、昨年大好評だったウェアブランドのwisdomをはじめAUSTIN.W、Just In Case、fu yue、MISCHIEF、vivacitaを出展した。また、今年初出展のブランドはif&nとSweet Villians。さらに欧州にも進出しているシューズブランドのabcense、WXY及びブランド立ち上げ後

## ～大会二連覇の謝依旻女流棋聖が就位式でエピソード～



ドコモ杯女流棋聖戦で2連覇を成し遂げた謝依旻さん

ドコモ杯女流棋聖就位式が3月19日、ホテルニューオータニ鳳凰の間で開かれ、大会二連覇達成の台湾出身の女流棋士、謝依旻さんが受賞した。NTTDコモが日本古来の文化である囲碁の普及を支援し、さらに女性の活躍を応援するために協賛の日本棋院と共同で実施しているもの。今回で十七期を迎えている。



過去に謝さんと対局し指導を受けた高校生との記念撮影の様子

主催)でのさらなる活躍に期待の意を示し、エールを送った。謝依旻さんと謝依旻さんの日本での活躍、そして素晴らしい成績は台湾の人々の誇りだ。日本の関係者の方々には、これからも引き続き謝さんをサポートして頂き、日台交流の架け橋としての活動にご協力頂きたい」と述べた。

これに対し謝依旻さんは謝辞を述べ、昨年末の女流本因坊戦で敗れ、落ち込んでいた気持ちを奮い立たせるために一人でマカオへ行き、世界一の高さ(233メートル)を誇るマカオタワーからのバンジージャンプに挑戦したエピソードも披露した。謝さんには副賞として重さ約5キロのトロフィー、賞金500万円、NTTDコモのタブレット製品などが贈呈され、過去に謝さんと対局

祝辞を述べるNTTDコモ代表取締役社長・加藤薫氏

し指導を受けた高校生やNTTDコモのマスクキャラクター・ドコモダケと共に記念撮影した。会見後の謝さんに集中力アップのコツを訪問し、「集中力はすぐにつくものではなく、積み重ねが大切。対局中に集中力を保つのはとても大変だが、対局は仕事でもあるし、それにしているのが自然と集中出来ているのかも知れない。囲碁は人の心を読むことももちろん大切だが、基本的に相手というよりは自分次第。自分の力をちゃんと出せるかどうかだ」と力強く答えた。また、今後の目標として、「もちろん女流棋聖戦で連覇することもあるが、まずは目の前の一局一局を大切に打っていきたい」と語った。

## ブラックメタルバンドの「CHTHONIC・ソニック」が全国縦断公演でファン魅了



会場となった渋谷のライブハウス

台湾を代表するブラックメタルバンドの日本縦断ツアー「CHTHONIC Bu-Tik Japan Tour 2014」がこのほど敢行された。2月21日の福岡開催を皮切りに、大阪(24日)、名古屋(25日)、東京(26日)での公演を経て28日に仙台で千秋楽を迎えた。ソニックは、台湾発のアジアNO.1メタルバンドとして人気を博している。これまで台湾のグラミー賞と言われている「金曲獎(ゴールデン・メロディー・アワード)」、「金音獎(ゴールデン・ミュージック・アワード)」、「總統文化獎」を何度も受賞していることがその人気の裏付け。誕生は1995年と比較的古く、その後、日本のフジ・ロック・フェスティバル参加や全米ツアーなど、海外で精力的な活動を行っていることも一因だ。歌詞のテーマも、霧社事件や二・二八事件、高砂義勇兵など、際どい政治的なテーマをモチーフにした曲づくりも拍車をかける。こうした台湾独立派のスタンスが今



開場前の様子

流行りのレジェンドのイメージにもなっている。都内で26日開催したライブハウスでソニックの「雄姿」を見に出かけた。午後6時の開場だ。縦断ツアーは、全公演でサポート・アクトが招待されており、福岡ではHYDROPHOBIA、大阪と名古屋ではBLOOD STAIN CHILD、東京ではCRYSTAL LAKEが出演した(仙台ではカタナカラスが出演)。午後7時より、日本のCRYSTAL LAKEの爆発的な重低音サウンドが会場を圧倒すると、聴衆が一斉にジャンプし、こぶしを振り上げ、踊り狂う。その活況のまま約30分会場は熱気に包まれた。そして楽器のセッティングを終え、ソニックが登場したのは午後8時前だった。グループのメンバーはFreddy Lim (ヴォーカル、二胡)・Jesse Liu (ギター)・Doris Yeh (ベース)・CJ Kao (キーボード)・Dani Wang (ドラムス)の5人。ステージ中央のスクリーン

にはデモ隊、ゼロ戦・戦争や「死」をイメージさせる映像がモニターに流れる。曲は、昨年リリースされた最新オリジナル・アルバム『武徳/Bu Tik』を中心に据えたものだった。Jesse Liuの見事なギターテクニックをはじめ、メンバーそれぞれの演奏技術のレベルの高さがブラックなビジュアル(仮面やメイク)を陳腐化させず、独特な世界観を醸し出していた。その後、午後9時前後には「サプライズゲスト」も飛び入り参加。いつの間にか超満員になった会場は激しいサウンド、Freddyの呼びかけに応じてこぶしを振り上げる30代前後の若者たちの叫び声で満たされていた。アンコール演奏が何度も続き、ラブホテル街のど真ん中にあるこのライブハウスは、スペシャルな1日を演出していた。

## 人物インタビュー シンガーソングライター 真氣さんインタビュー

昨年9月、台湾で日台親善コンサートを開催するなど、北海道と台北を拠点に活躍する、シンガーソングライター真氣さんに、これまでの軌跡を聞いた。

Q: デビューのきっかけは。 A: 大学卒業後、某研究所でOLをしていました。歌の道を選んだのは「詞を届けたい」「シンガーソングライターになりたい」という気持ちから。2005年に初めて北海道・道東を旅行した際、タンチョウ(鶴)に出会い、その美しさに感動し、絶滅の危機にあることに驚き、ツルの保護に携わる人々の話を聞く中で「希少価値」や「共存」を訴えたい、発信したいと思うようになりました。結果、生まれたのがオリジナル曲「サルルンカムイ〜湿原の神〜」です。リリース後、道外からツルに魅せられた女がいるということで、地元ラジオ局や企業のイベントやパーティなどで歌わせていただくようになりました。また、釧路新聞で3年半、ツルをテーマにしたコラムも連載しました。



シンガーソングライター真氣さん(都内で撮影)

Q: 台湾との関わりは。 A: 2009年に台北でカンボジア支援のチャリティコンサートが日台のロータリークラブの主催で企画され、たまたま日本側のロータリークラブに知り合いがいたことから声がかかりました。それまで私の活動のベースに台湾は入っていませんでしたが、この時台湾の皆さんにとってもよくしていただいで、私のなかには台湾の存在が芽生えました。 Q: メジャーデビューは。 A: 2011年3月11日の東日本大震災の後、台湾の方々に感謝の気持ちを自分の言葉で伝えたいと考え、3カ月の予定で台湾に語学の勉強のために滞在しました。2カ月が過ぎる頃に所属事務所から連絡が入り、メジャーデビューが決まったと。予定の滞在一ヶ月を前に帰国しました(「サルルンカムイ〜湿原の神〜」9月21日リリース)。

Q: 北海道観光PRキャラクターに選ばれたが。 A: 2012年に台湾に対しての北海道観光PRキャラクターに選ばれました。北海道出身ではない私が選ばれたのは「サルルンカムイ〜湿原の神〜」を歌っていたからだと思います。この年は、台湾のテレビの旅行番組に出演してナビゲーター役を務めたり、番組内でツルを宣伝したり、観光PRのステージで歌ったりしました。 Q: 昨年どんな活動を。 A: 台湾のテレビ局から台湾と北海道が舞台のドラマへの出演のお話をいただき、初めてドラマに出演しました。8月には台北で記者発表会がありました。同月に栃木県足利市の高校の姉妹校である台北市成功中学校に招待されて生徒さんと交流しました。急ぎよアカベラで歌いました。そして、9月には台湾の方々の感謝の意を込めて日台親善無料コンサートを台北で開きました。500人が入る会場で、「客の入り」が心配されましたが皆様の応援のお蔭でいっぱいになりました。この時、初めて中国語で書いたの

プロフィール 真氣 栃木県足利市生まれ。大学卒業後、某研究所OL時代を経て、シンガーソングライターに。2005年北海道道東でタンチョウ(鶴)と出会い、処女作「サルルンカムイ〜湿原の神〜」を作詞・作曲(CD発売)。以後、北海道を中心にライブ、ラジオ出演、コラム執筆などを開始。2008年、「アキザクリ」リリース、2009年、台湾で行われたカンボジア支援チャリティコンサートに出演。2011年「サルルンカムイ〜湿原の神〜」にてメジャーデビュー(V.A.P)。2012年、台湾に対する北海道観光PRキャラクターに起用される。2013年、台湾ドラマ「我・愛・你・愛・你・愛・我」出演。同年、台北で3.11支援に対する感謝の意を込めて「日台親善コンサート」を単独開催。中国語曲「従心底謝辞」を歌う。従心底謝辞 http://youtu.be/7gXhjd1wR4